

行政評価シート（事務事業評価）		評価年度	3年度
事業名	廃棄物処理対策事業	担当課	市民生活課
事業内容(簡潔に)	廃棄物の適正な処理と不法投棄防止対策を行い、市内の環境保全を図る		

### 1 計画(PLAN):事務事業の計画的位置づけ

第7次総合計画での目的体系	基本方向	美しいふるさとを誇れるまちづくり	
	政策	ふるさとの魅力と誇りを次世代につなげるまちづくり	
	施策	資源循環型社会の構築	
関連する個別計画等	一般廃棄物処理基本計画	根拠条例等	廃棄物の処理及び清掃に関する条例

### 2 計画(PLAN):事務事業の概要

事業の目的	「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等に基づき、一般家庭から排出される生活系ごみや有害物質含有ごみ(乾電池など)の収集・処理を行い、市民の生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。また、不法投棄物のパトロールを定期的を実施し、不法投棄を未然に防ぐと共に不法投棄物の収集・処理を行う。
事業の手段	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内 380 箇所の地区ごみステーションを可燃・不燃・可燃粗大・不燃粗大ごみとそれぞれ指定日に収集。エコパークたつおかに搬入し処理。市民が直接エコパークにごみを搬入する「自己搬入」の日を毎月第 3・4 土曜日に設け、無料で受け入れを実施。</li> <li>乾電池・蛍光灯などの有害物質含有ごみは、9 月と 2 月に各地区資源リサイクル会場と拠点会場で収集を行うとともに、市役所開庁時間帯に市民生活課窓口で随時回収を行っている。</li> <li>不法投棄廃棄物については、監視員が毎週火曜日にパトロールを実施。違反シールの貼り付けや収集を行う。</li> </ul>
事業の対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般家庭から排出される可燃・不燃ごみ、可燃・不燃粗大ごみ及び不法投棄されたごみ</li> <li>一般家庭から排出される有害物質含有ごみ</li> </ul>

### 3 実施(DO):投入費用及び従事職員の推移(インプット=費用+作業)

		30 年度	元年度	2 年度
財 源 内 訳	A 事業費 (千円)	66,964	70,054	68,513
	国・県支出金	345	0	0
	その他(使用料・借入金ほか)	15,523	16,420	14,907
	一般財源	51,096	53,634	53,606
B 担当職員数(職員 E) (人)	0.30	0.30	0.30	
C 人件費(平均人件費×E) (千円)	1,973	2,015	2,059	
D 総事業費(A+C) (千円)	68,937	72,069	70,572	
主な事業費用の説明	廃棄物収集運搬料			

注)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した 30 年度(6,862 千円)、元年度(6,715 千円)、2 年度(6,575 千円)を使用しています。

### 4 実施(DO):事業を数字で分析(アウトプット=事業量)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			30 年度	元年度	2 年度
活動指標	1 1 1 1 1 ごみ収集日数	可燃ごみ	201	204	201
		不燃ごみ	48	48	48
		可燃粗大ごみ	24	24	24
		不燃粗大ごみ	24	24	24
活動指標	2 自己搬入実施回数	毎月第 3・4 土曜日	24	24	24
	3 有害ごみ収集回数	各地区リサイクル会場×年 2 回 拠点会場(2 箇所) 対象月の毎週 土曜日	212	208	208
18			18	16	
活動指標	4 不法投棄パトロール日数	週一回パトロール	60	53	58
妥当性		<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない			
上記活動指標と妥当性の説明		<p>1 一般家庭から出るごみは市が責任をもって収集場所から定期的に収集し、処理することが法で定められている。</p> <p>2 市内在住者であれば、地区ごとに月 1 回無料でエコパークたつおかに生活系ごみを持ち込むことができる。</p> <p>3 有害物質含有ごみとして、乾電池、蛍光灯、水銀を含む鏡や体温計などを年 2 回収集している。</p> <p>4 毎週火曜日に業務委託した監視員 2 名が市内を 4 地区に分け、パトロールを実施。年間 60 日の契約のため年末年始等回数を増やし実施。</p>			

5 評価(CHECK): 事務事業評価 (アウトカム=成果・効果)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			30年度	元年度	2年度
成果指標 もしくは まちづくり 指標	1	生活系ごみの収集量 (可燃) 単位: t	5,967 (5,525)	5,931 (5,489)	5,953 (5,492)
	2	自己搬入持込量 単位: t	112	108	135
	3	有害ごみ収集量 合計 ・乾電池 ・蛍光灯 ・水銀含有物(鏡など) 単位: t	9.03 6.01 2.44 0.58	10.46 7.13 2.88 0.45	11.61 8.22 2.48 0.91
	4	不法投棄物収集量 合計 ・可燃・不燃・処理困難物 ・テレビ・冷蔵庫・洗濯機 ・タイヤ ・バッテリー 単位: t (家電等重量換算) 単位: t 単位: 個 単位: 本 単位: 個	8.9 7.1 11 128 1	15.6 14.9 7 270 0	18.7 17.5 12 107 1
成果		<input type="checkbox"/> A 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない			
上記指標の妥当性と成果の内容説明	1	ごみ排出量が令和元年度までは減少傾向であったが、令和2年度には上昇した。新型コロナウイルス感染症による巣ごもりや断捨離の影響と考えられる。令和2年度に策定した『第2次ごみ減量アクションプラン』の更なる周知を行い減量化に努める。			
	2	平成30年度と令和元年度は横ばいであるが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症による巣ごもりや、断捨離の影響で増加した。			
	3	概ね横ばいであるが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症による巣ごもりや断捨離の影響で増加した。			
	4	毎年、大型案件について対応しており、困難物の処理量は増加傾向にある。			

事務事業総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成
----------	--

6 改善(ACTION): 今後の事務事業の展開

今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 拡大(コストを集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善(事務的な改善を実施する) <input type="checkbox"/> 全部改善(内容・手段・コスト・実施主体等の見直しが必要) <input type="checkbox"/> 縮小(規模・内容を縮小、又は他の事業と統合する) <input type="checkbox"/> 廃止(廃止の検討が必要)							
事務事業の改善案	改善の概要・方向性(いつまでに、どういう形で具体化するのか)							
	令和3年度の改善計画(今後の事業展開説明) 大型不法投棄現場の撤去を平成30年から令和2年の3年計画で実施したため、不法投棄物収集量が増えているが、計画年における大型不法投棄の撤去については完了したので、令和3年度以降、不法投棄物収集量は減少する見込みである。 現在は、不法投棄監視パトロールや看板の設置等の効果もあり、大型不法投棄はなくなっているが、新たな不法投棄を生ませないためにも、今後も継続して不法投棄監視パトロールや看板等の設置等を実施し、更なる不法投棄対策を検討していく。							
過去の改善経過	改善の経過	平成24年度: ごみ袋の形状変更(40リットル、ガゼット型マチ付) 小型可燃ごみ(20リットルサイズ)を作成 平成25年度: 武田の里ふるさとまつりに出店し、水切りの普及啓発 平成25年度: 外国人向けごみ分別マニュアルを作成 平成26年度: 旭地区を対象に水切りモデル地区として水切り具の配布や普及啓発を行う 平成27年度: 小型不燃ごみ(20リットル)を作成 平成28年度: 自己搬入の搬入方式を月1回(第4土曜日)から第3土曜日、第4土曜日に地区を分けて搬入に変更する。 平成30年度: 一般廃棄物基本計画中間見直し、有害ごみの窓口受け入れ開始。 不法投棄防止設置柵設置(穴山町重久地区 県1/2補助)						
	直近の評価経過	<table border="1"> <tr> <td>内部評価</td> <td>令和元年度</td> <td> <input type="checkbox"/> 拡大    <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善    <input type="checkbox"/> 全部改善    <input type="checkbox"/> 縮小    <input type="checkbox"/> 廃止         </td> </tr> <tr> <td>外部評価</td> <td>対象外</td> <td> <input type="checkbox"/> 拡大    <input type="checkbox"/> 継続    <input type="checkbox"/> 一部改善    <input type="checkbox"/> 全部改善    <input type="checkbox"/> 縮小    <input type="checkbox"/> 廃止         </td> </tr> </table>	内部評価	令和元年度	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 全部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	外部評価	対象外	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 全部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止
	内部評価	令和元年度	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 全部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止					
外部評価	対象外	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 全部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止						
改善案	平成30年度がごみ減量アクションプランの最終年度であったため、令和元年度中に事業成果の検証を行い、次年度以降の施策展開を検討する。							
課長所見	新型コロナウイルスの影響で生活系一般廃棄物の排出量が増加したが、傾向としては年々減少傾向にある。ごみの収集については、現状として大きな課題はないと考えるが、不法投棄物の増加などが課題となっている。不法投棄物は早期の回収が投棄の抑止に繋がると言われているので、不法投棄監視パトロールの強化やスピード感をもった対応に努める必要がある。							